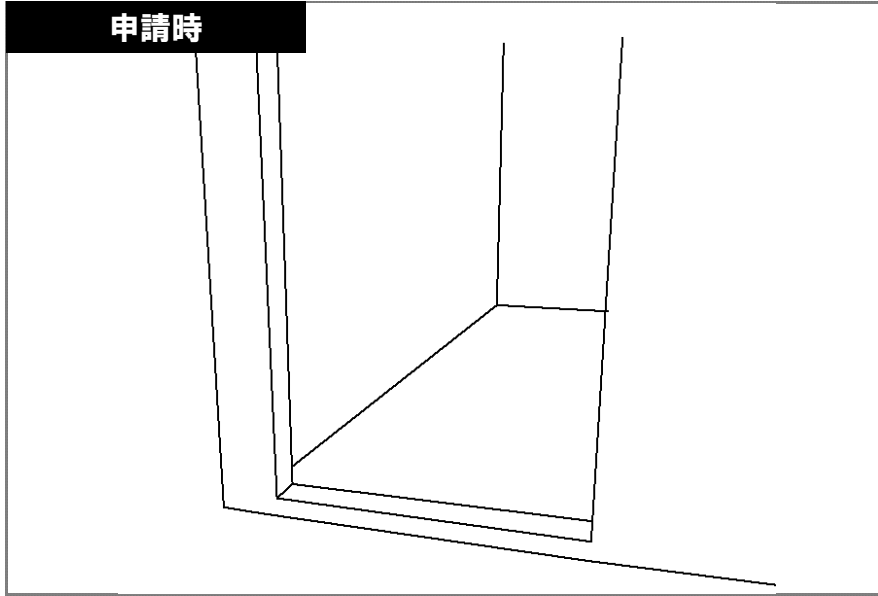


写真の撮影例

※対象となる工事については空き家活用用途ごとに異なります。
詳しくは要綱及び各用途別要領をご確認ください。

例1 段差解消工事

申請時

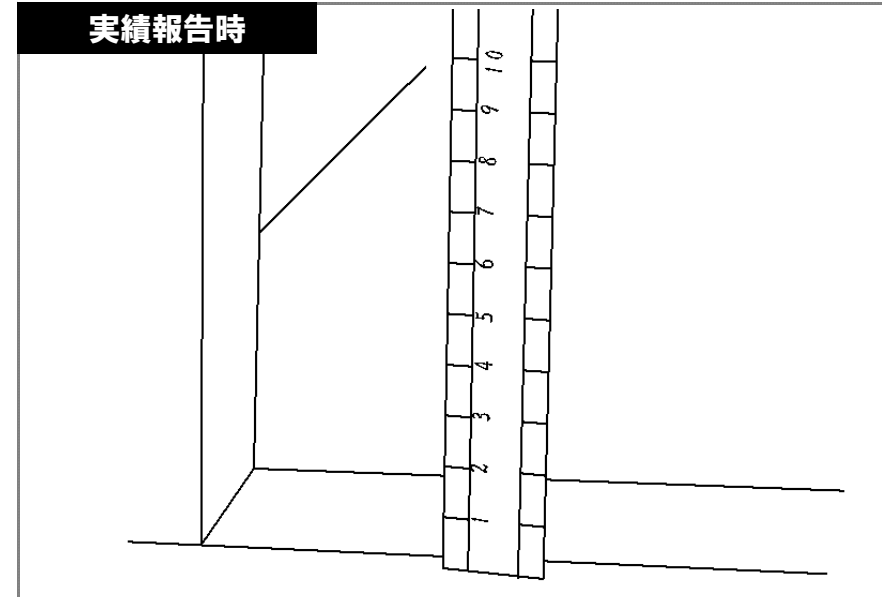


段差の撮影のポイント

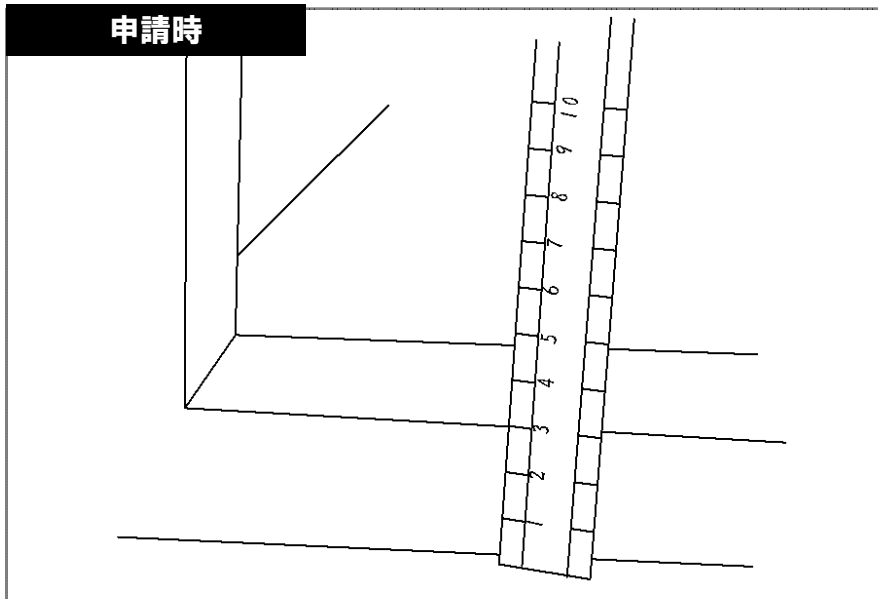
【申請時の写真】

- 段差の大きさや位置が分かるように撮影してください。
- 段差を横から撮影すると、大きさがよりわかりやすくなります。
- 必要に応じ、段差のアップ写真を撮影する、メジャーを当てて段差の大きさを撮影するなど、工夫をしてください。

実績報告時



申請時



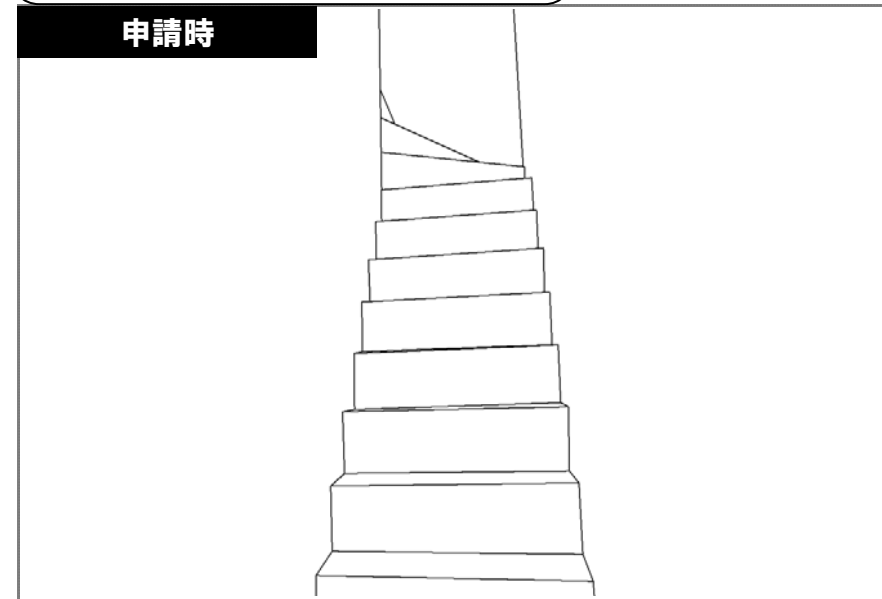
手すりの撮影のポイント

【申請時の写真】

- 手すりを設置する位置を撮影してください。
- 階段の左右どちらに設置するかが未定な場合は、あらかじめ両方の壁面を撮影してください。

例2 手すり設置工事

申請時

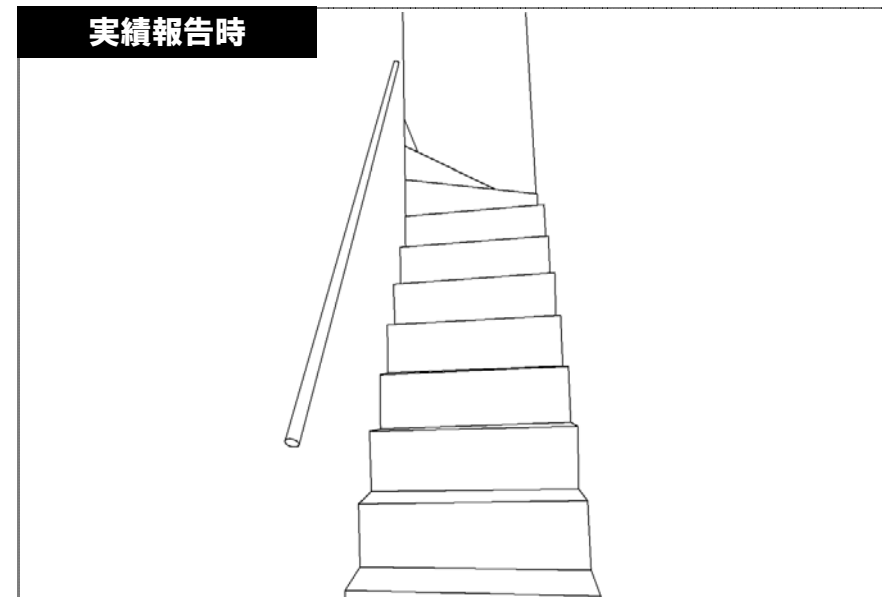


段差の撮影のポイント

【実績報告時の写真】

- 段差が解消された状況がわかるように撮影してください。
- 申請時の写真と同じ角度で撮影してください。

実績報告時

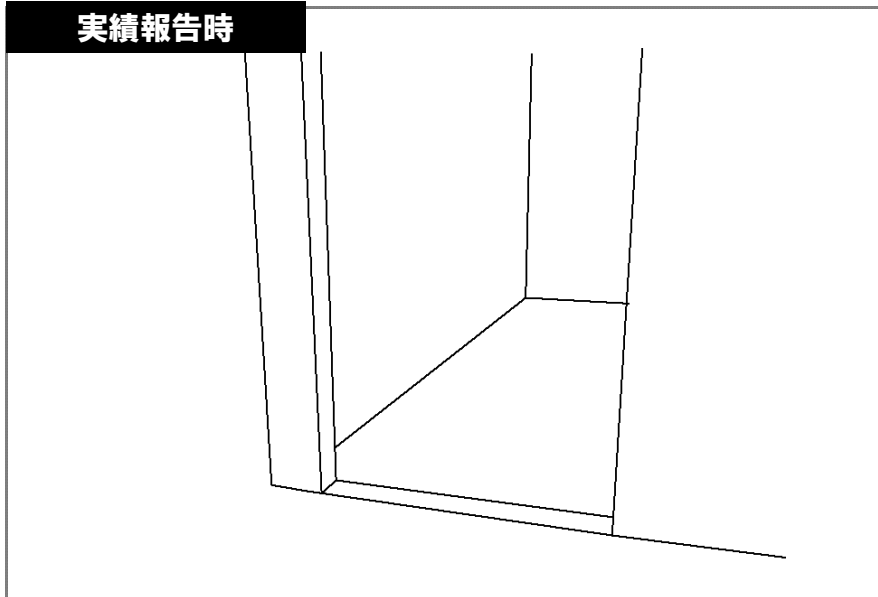


手すりの撮影のポイント

【実績報告時の写真】

- 手すりを設置した位置を撮影してください。
- 申請時の写真と同じ角度で撮影してください。

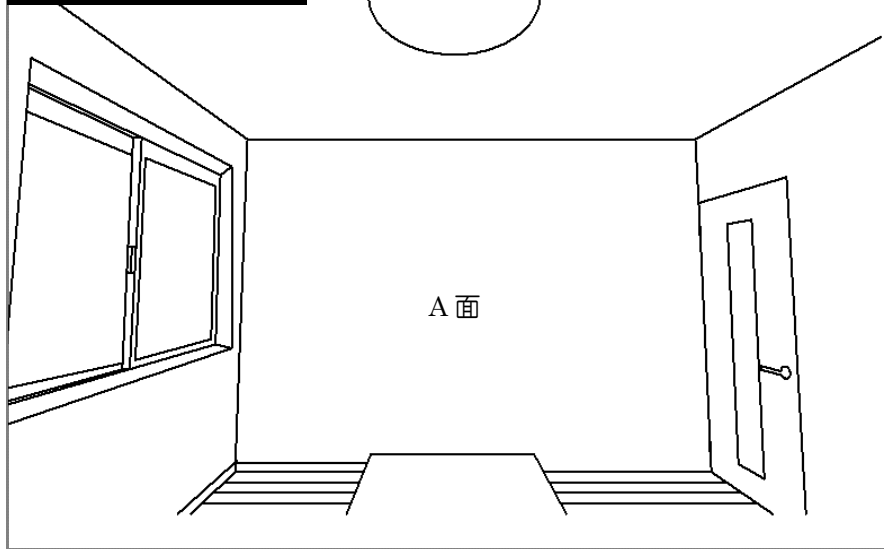
実績報告時



写真の撮影例

例2 内装改修工事(壁・床・天井)

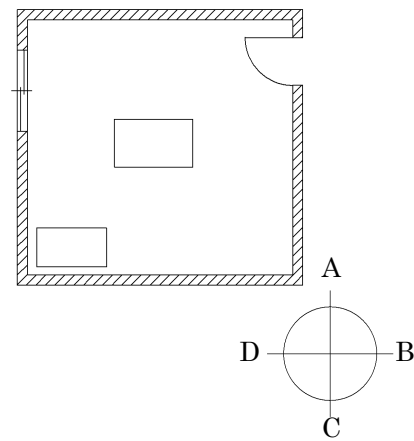
申請時・実績報告時



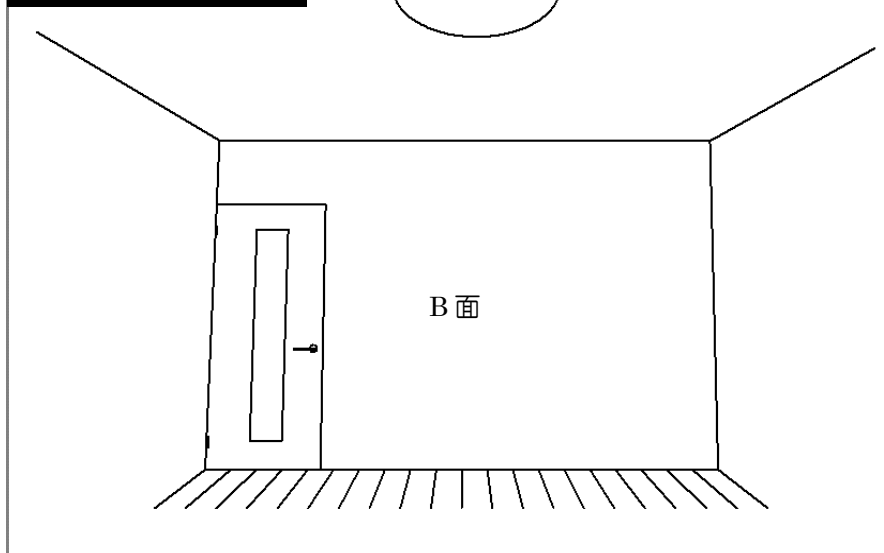
壁の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 改修工事を行う壁を、一面ずつ、撮影してください。
 - 可能な限り、壁全体を撮影してください。
 - 壁面が一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。
 - 必要に応じ、平面図や撮影方向のメモを記載してください。

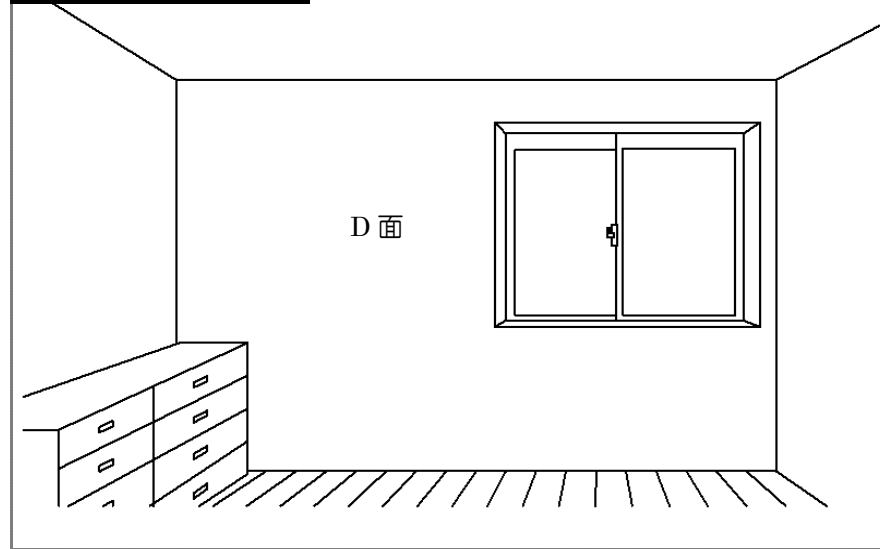
(例)



申請時・実績報告時



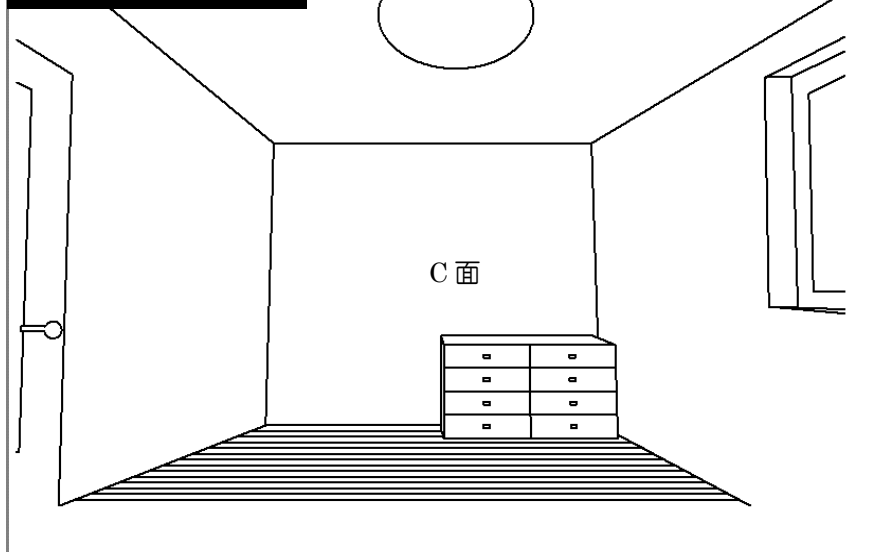
申請時・実績報告時



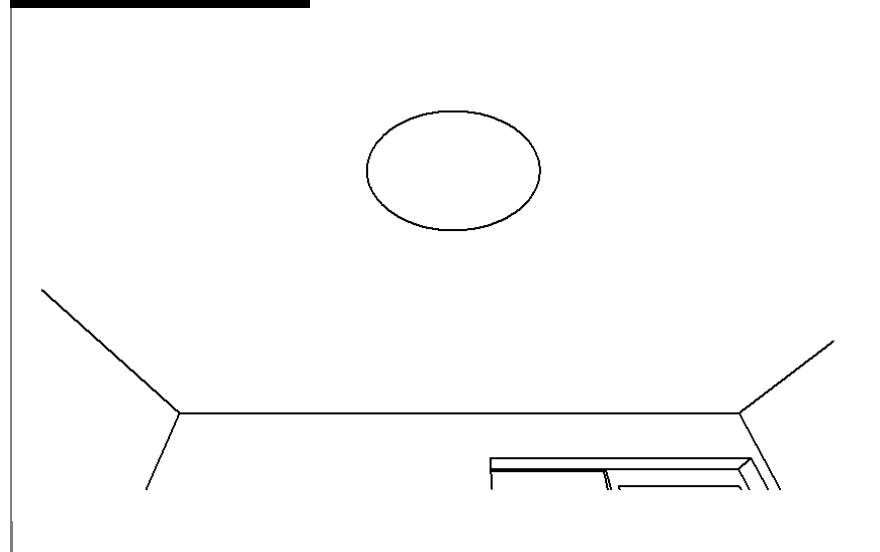
床の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 壁と同様、可能な限り、床の全体を撮影してください。
 - 床面が一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。
 - 床に、ゴザやカーペット等の敷物がある場合は、敷物をはがした状態の写真を撮影してください。また、申請時には全面的撮影が困難であると認められる場合は、以下を交付決定の条件として付す場合があります。
 - 工事実施の直前に、敷物等がない状態での床面全体の写真を撮影すること
 - 実績報告書に当該の写真を提出すること

申請時・実績報告時



申請時・実績報告時



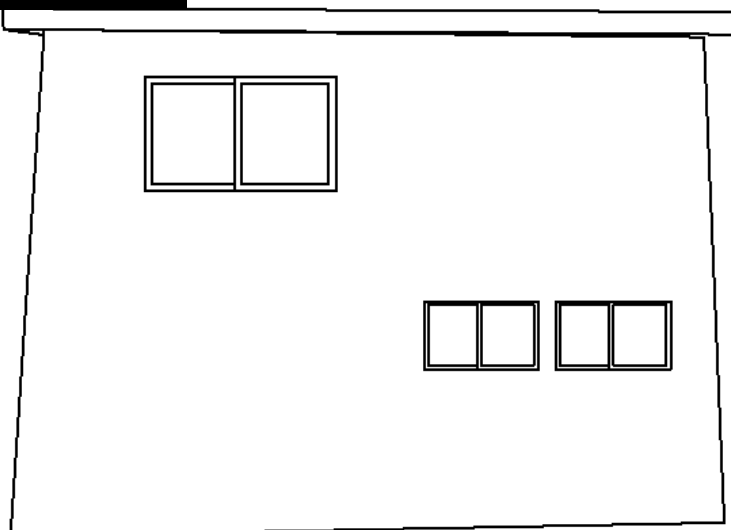
天井の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 壁や床と同様、可能な限り、天井の全体を撮影してください。
 - 天井面が一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。

写真の撮影例

例3 外壁・屋根改修工事

申請時・実績報告時



外壁の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 改修工事を行う壁を、一面ずつ、撮影してください。
 - 可能な限り、壁全体を撮影してください。
 - 壁面が一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。

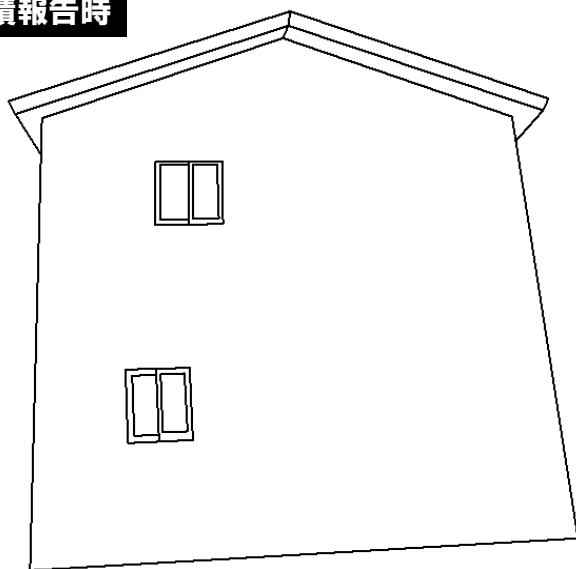
申請時・実績報告時



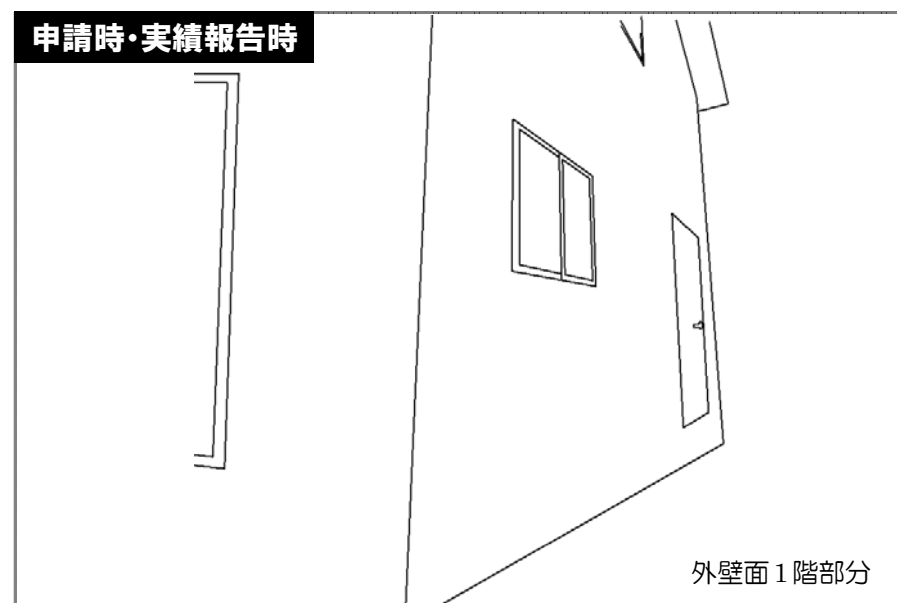
外壁の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 改修工事を行う壁が正面に納まるように撮影してください。
 - 一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。

申請時・実績報告時



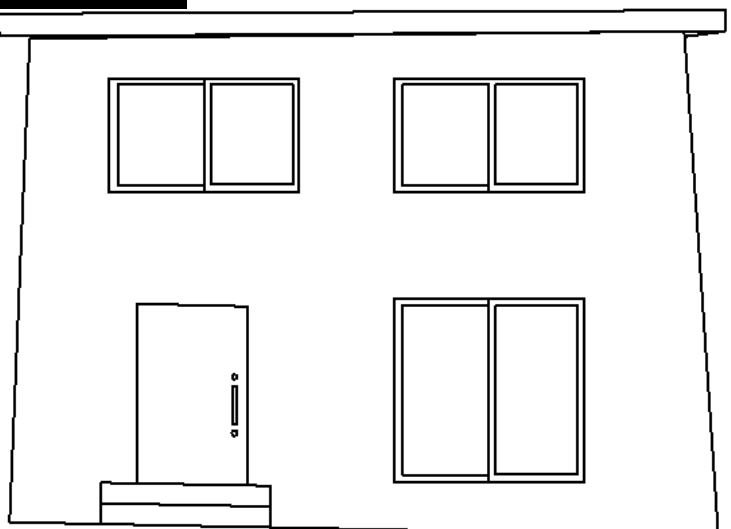
申請時・実績報告時



屋根の撮影のポイント

- 【申請時・実績報告時の写真】
- 可能な限り、改修工事を行う屋根面全体を撮影してください。
 - 屋根面が一枚の写真に納まらない場合は、複数枚に分割してもかまいません。
 - 申請時において、改修工事を行う屋根面の撮影が困難であると認められる場合は、以下を交付決定の条件として付す場合があります。
 - 工事実施の直前に屋根面の写真を撮影すること
 - 実績報告書に当該の写真を提出すること

申請時・実績報告時



申請時・実績報告時

